

特許出願中

特願2020-125886

やまなしグリーン・ゾーン構想機器購入支援金  
対象製品(コロナ感染予防)

ラクらく

はかるくん

TBW-LS20

新型コロナ対策 検温システム



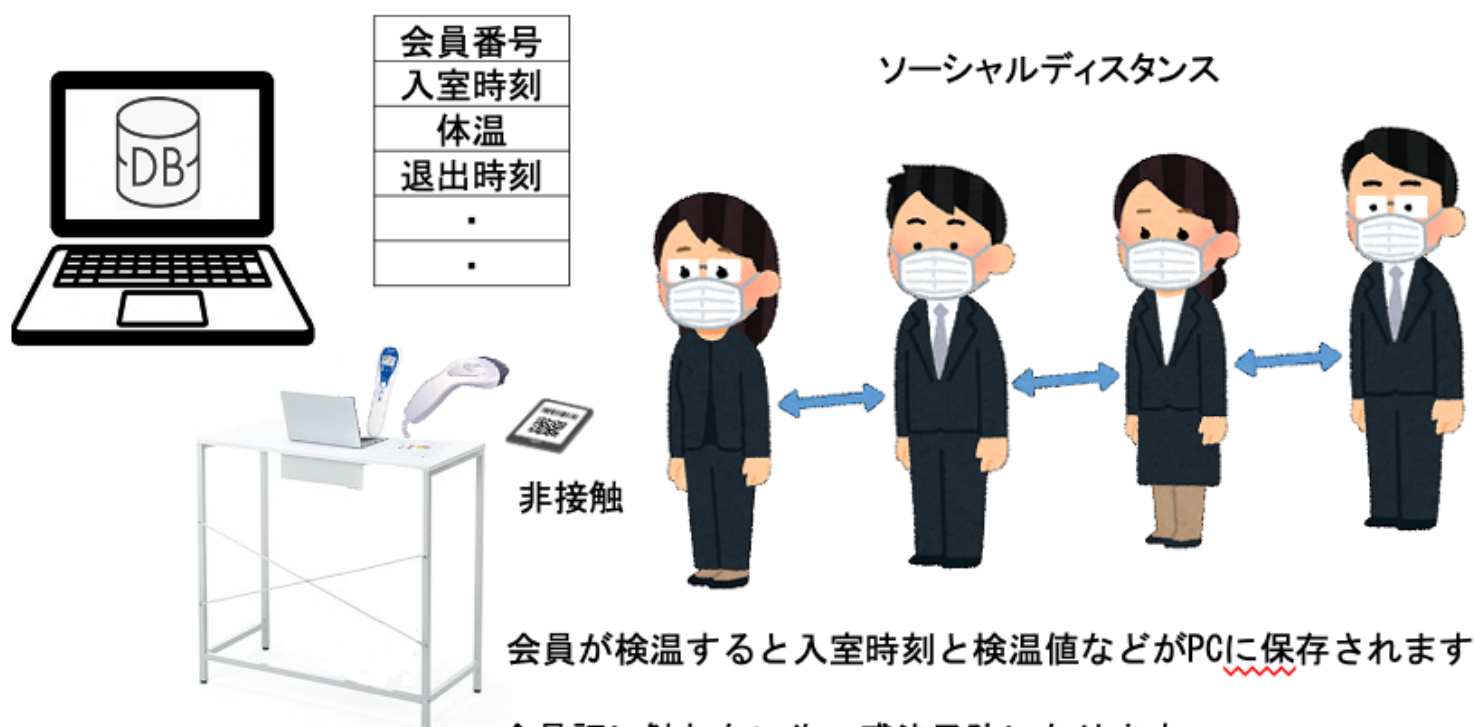
株式会社ソフトケン

〒400-0113 山梨県甲斐市富竹新田802-2

TEL: 055-279-3701

URL: <http://www.softken.com> Mail : [salese@softken.com](mailto:salese@softken.com)

## ペーパーレス



会員が検温すると入室時刻と検温値などがPCに保存されます

会員証に触れない為、感染予防になります

入退出表への記録の手間が省けます

体温が37.5°以上の場合、担当者にメールで知らせます

## TBW-LS20

メリット



低価格

検温データを「紐付け」できる

デメリット

多人数を瞬時に処理する事がむずかしい

## サーモカメラ

メリット

多人数を短時間に検温出来る

デメリット

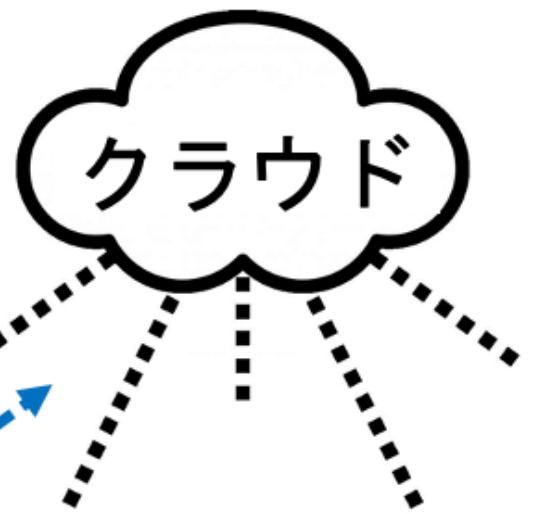
検温データを個人に「紐付ける」事がむずかしい

高価 ～数百万円以上



# システム全体の流れ

① 名簿をデータベースにします



③ ID読込



② QRコード作成



④ 検温

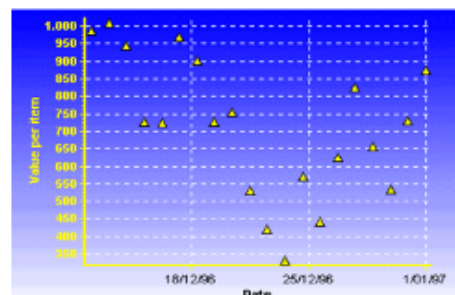
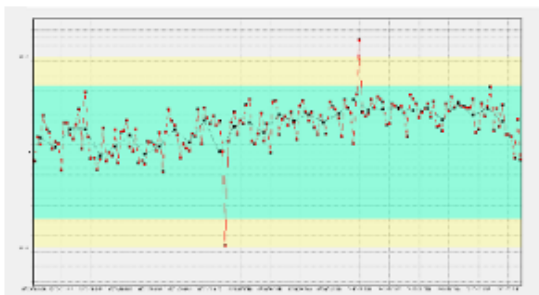


異常通知



旨定したアドレスに検温値等をメールを送信して通知できます。

⑤ データ解析



## メール送信機能 データを残せる「検温システム TBW-LS20」

基準体温37.5度より高い場合は、写真付きの検温データをメール送信できる。

写真が送付されるため、容易に高熱者の特定を行うことができる。

高熱者に対して迅速且つ的確な処置をすることにより濃厚接触者を最小限に抑えることができる。



### 新しい生活様式になって、毎日測っている体温 どうやって記録していますか？

体温は測るけど、書き留めるのは面倒…

学校、職場等に報告しなければならぬので、測るけど、記録まではしていない  
でも、実は「体温の変化」がとても重要なのです。(資料①)

特定者データ管理

出欠の記録に利用できる

「検温システム TBW-LS20」で、ピッと体温を測れば、その場でパソコンに記録・保存ができます。

体温の履歴から平熱を知ることができ、また、ウィルスに感染した可能性がある時期を推測できます。

一人ひとりからの報告を待っているのではなく、学校、職場、スポーツセンターなどに

「来た時検温＝記録」で、管理者・利用者共に手間なしでデータ保管までできます。

検温システムはサーモグラフィ体温計のように不特定多数の検温とは違い、個々のデータとして管理するため、

学校やカルチャースクール、塾などで出席管理としても役立ちます。

基準体温37.5度以上(資料②)だった場合、

平熱よりどれぐらい高いのか、急な発熱なのか、等の判断材料になり得る。

## 検温システムについて

### ① TBW-LS20

- ① バーコードリーダーからIDを取得して「検温値」をデータベースと連携します。
- ② 非接触体温計で体温を収集して、データベースに記録します。
- ③ 検温値が「37.5℃」以上を記録すると、指定アドレスにメールを送信します。

### ② バーコード・QRコード作成システム

- ① データベースのIDをバーコード又はQRコードに変換してシールプリンタに印刷します。
- ② ①の時IDを暗号化して「検温システム」以外には判読できないようにします。

### ③ 集計システム

- ① 体温を継続してデータベースに蓄積する事で「変化の見える化」が出来ます。
- ② 「体温のトレーサビリティ」(測定場所・測定時間・測定時の気象)が可能です。
- ③ 体温の平均値(取り数=n)を管理する事で、平均体温を線形にして把握する事が出来ます。
- ④ 体温の標準偏差(取り数=n)を管理する事で、体温の傾向(上昇・下降)を把握する事が出来ます

### ④ クラウドシステム

